

# Charles Richard-Hamelin Piano Recital

美しく、研ぎ澄まされたタッチ、自然にして情感溢れる豊かな表現力！  
今、次世代の巨匠として音楽界の注目を浴びるアマラン、  
待望の北海道初リサイタルはオール・ショパン・プログラム！



## シャルル・リシャール＝アマラン Charles Richard-Hamelin

2015年に行われたショパン国際ピアノ・コンクールで第2位とクリスチャン・ツィメルマン賞(ベスト・ソナタ賞)を受賞し、同世代の中でも最も重要なピアニストと注目されている。2014年、モントリオール国際音楽コンクールで第2位、ソウルでの国際音楽コンクールで第3位と、ベートーヴェンのソナタ演奏で最優秀賞を受賞、2015年4月には、トロントの婦人音楽クラブから特別キャリアアップ賞を贈られた。プラハの春音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭(フランス)、ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭(ワルシャワ)などの様々な有名音楽祭に出演。ソリストとしても、カナダの主要なオーケストラを含め、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、トロント響、ポズナン・フィル、モントリオール市管、コリアン・シンフォニー等と協演している。

ケベック州ラナウディエル生まれ。P.サルドゥレスク、S.ライモン、B.ベルマン、A.ラプラントに師事。2011年マックギル大学を卒業、2013年にはイェール大学から修士号が贈られた。2016年にモントリオール音楽院を修了。ピアニストのJ.サウルニエとともに後進の指導にあたっている。

カナダのアナレクタ・レーベルからリリースされている6枚のCDは、世界中で高い評価を得、2018年秋にはアンドリュウ・ワン(Vn)とのベートーヴェン・ヴァイオリンソナタが、2019年にはケント・ナガノ指揮モントリオール響とショパンの協奏曲を、さらにショパンのバラード、そして2020年には24の前奏曲をリリース。いずれも高評を得ている。

2016年5月の日本でのリサイタル・デビューは各地で絶賛され、すでに6度の来日を果たしている。



## ショパン:24の前奏曲

アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ  
シャルル・リシャール＝アマラン(ピアノ)  
Analekta/PAN 29148(輸入・発売:東京エムプラス)



## モーツァルト:ピアノ協奏曲集

ピアノ協奏曲第22番&第24番 他  
シャルル・リシャール＝アマラン(ピアノ)  
ジョナサン・コーエン(指揮)レ・ヴィオロン・デュ・ロワ  
Analekta/PAN 29147(輸入・発売:東京エムプラス)



## ショパン:バラード&即興曲集

バラード第1番・第2番・第3番・第4番  
即興曲第1番・第2番・第3番、幻想即興曲  
シャルル・リシャール＝アマラン(ピアノ)  
Analekta/PAN 29145(輸入・発売:東京エムプラス)



## ショパン:

## ピアノ協奏曲第1番&第2番

シャルル・リシャール＝アマラン(ピアノ)  
ケント・ナガノ(指揮)モントリオール交響楽団  
Analekta/PAN 29146(輸入・発売:東京エムプラス)